

産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分 類 名	プロライセンスコース
-------	------------

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・ 専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コ ース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専 修 学 校 名	南海福祉専門学校	分 野 区 分	福祉
課 程 名	専修学校専門課程	修 業 年 限	2年
学 科 名	介護福祉科	学 科 定 員 数	80名
学 科 開 設 年 月 日	昭和63年3月31日	学 科 実 員 数	28名
コ ー ス 設 置 年 月 日	平成20年4月1日	推 奨 年 度	平成29年度
当該学科の教育目標	介護に関する専門技術修得はもちろん、人々の生活全般を支援する「福祉の心」を養う。		
就 職 を 目 指 す 職 業	介護職(ケアワーカー)、生活相談員、生活支援員		
入学案内への記載	過去の就職実績、学生の状況、提携企業の状況等		
当該学科に対する学生のニーズ		当該学科に対する企業・業界のニーズ	
介護技術の理論と実践を修得し、適した就職先確保		介護技術を修得し、コミュニケーションを図れる即戦力の人材	

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成28年度実施内容

提 携 企 業 名 (業 界 名)	玉井泉陽園、陵東館、朗友館、等 (福祉業界)		
コ ー ス の 目 標	早期に多様な介護等の現場を経験し卒後の目的意識を高め修業のミスマッチを防ぐ。		
企業等との提携内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	理論だけでなく、多様な介護の現場を経験し、実践的な課題解決能力を培う。 提携企業と学校の双方が、連携と協力を図り、円滑な実習を行う。 学校は、実習に際し、事前指導、事後指導を行う。 提携企業は、学生を受け入れ、現場実習を指導する。		
コ ー ス 内 容 ※企業現場実習など	多様な介護現場にて経験を積むとともに、実習を通じ、知識・技術・社会性を身につける。事前指導、事後指導も充実しており、特に、実習における修得内容を学生の實力へと具体化するため、2年時の実習終了後、学生自身が事例研究論文を作成・発表、講評を受けるとともに、就職後も活用できるよう、事例研究論文集を発行し、学生に配付している。 また、本校は独自に1年通期、2年前期の毎水曜日を「フィールドワークデー」とし、原則学校には登校せず、各種施設で体験実習やボランティアを行う等、自分で決めたフィールドで活動を行う。学外活動を通して、社会規範やマナー、コミュニケーション力を身につけ、社会人としての責任感と自主性を培う。		
提 携 契 約 期 間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日		
提 携 教 育 期 間	1学年 35日間 (280時間相当) 2学年 22日間 (176時間相当)		
コ ー ス 受 講 生 の 募 集 ・ 選 定 方 法	学校が学生の自宅の立地並びに各自の希望を勘案のもと各施設のアレンジを行い、実習行う。		
履 修 認 定	履 修 認 定 時 間 / 総 授 業 時 間	賃 金 支 払	企 業 評 価 の 有 無
(有)・無	456時間/456時間	有・(無)	(有)・無
評 価 学 校	提携企業の評価を最重視し、学校の授業科目としての総合評価を履修認定を実施		

方 法	企 業	提携企業による5段階の実習評価を行う。
学 生 へ の 支 援 ・ 配 慮 事 項		学校:担当教員による学生ケア、定期的に巡回をして実習指導を実施。 企業:企業側実習担当者が、原則、日々実習終了時に指導を行う。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)
本校の分掌にて卒後委員会を設置し、卒業生の相談窓口としている。 また、卒業生を対象とした研修会を実施している。さらに同窓会(あかね会)の定期開催により、卒業生との交流および情報交換も実施している。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 27 年度	平成 28 年度(見込)
a. 学科修了者数	17 名	16 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	17 名	16 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	17 名	16 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	1 名	0 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	16 名	16 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等		
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設等		

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 7名(中退率 16.3%)
b. 平成27年4月1日在学者 43名(平成27年4月入学者を含む)
c. 平成28年3月31日在学者 36名(平成28年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
学業不振、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
クラス担任制をとり、個人面談を実施するとともに、学生、保護者、学校の3者間の緊密な連携をとることにより、中退防止に取り組んでいる。

7 学校関係者評価の実施・公表

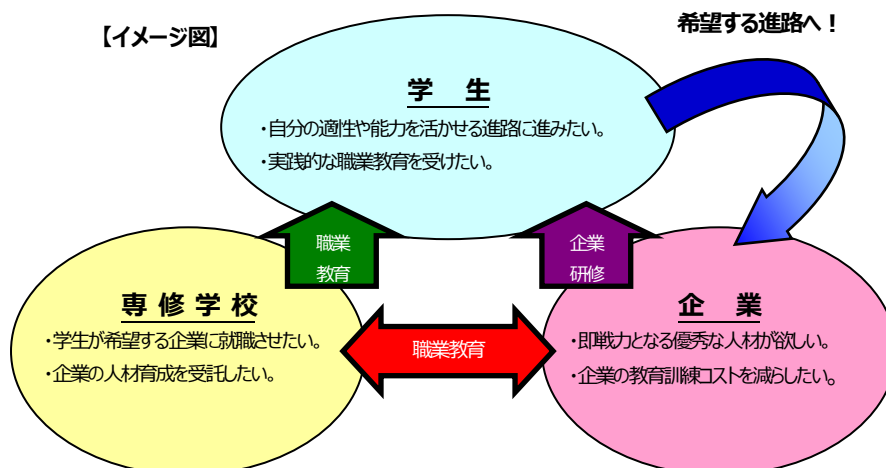
・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.nansen.ac.jp/>

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して選考選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。